

造園CPD教育形態表 (2018年度の活動から適用版)

[注意事項]

CPD単位

- 1) 内容が造園関連分野として認められるもののみ、単位取得の対象とする。
- 2) 自らの日常の業務として行うものは、単位認定の対象に含まない。
- 3) 認定委員会では認定申請のないプログラムについて、独自の判断で認定プログラムとする場合がある。
- 4) CPD単位の年度の合計は小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までの値とする。個々の記録については小数点以下第3位を四捨五入し、第2位までの値とする。
- 5) CPD単位及び係数は、必要に応じて変更する場合があるので、ホームページ等で最新の内容を必ず確認すること。

用語定義

- 1) 「筆頭者もしくは代表者」とは「その研究論文の執筆やその設計作品の作成、施工作品の展覧制作に当たり最も重要な知的貢献ならびに技術的貢献が大きかった人物1名」である。通常は著者名の中で最初の者1名である。ただし、代表者が複数名いる場合は、代表者全員で該当番号のCPD単位係数を任意の比率で配分するものとする。「連名者」とは「その研究論文の執筆、設計作品の作成、施工作品の展覧制作に当たり筆頭者や代表者を助けた人物（複数名可）」である。
- 2) 「講師」とは、主催者または講師から依頼を受けたものに限る。「補助」とは、補助に当たり造園的技術を要するものを意味する（映写の補助などは「講習会等」の受講の区分のいずれかとして計上する）。主催者または講師から依頼を受けたものに限る。
- 3) 「作品等」とは「空間の造園的機能を高め、あるいはそれに伴う負荷を軽減するために行われ、その結果が公開されている総ての行為の結果」をいう。したがって公園の管理や、自然環境の保全活動なども含む。
- 4) 「出版が出版社等によるもの」とは、「出版社、公益法人等により出版され、内容について、校閲・委員会検討・市場評価など何らかのチェックを受けているもの」をいう。
- 5) 「学術団体」とは、日本学術会議協力学術研究団体をいう。
- 6) 「公的団体」とは、行政機関および独立行政法人、国立大学法人、公立大学法人、学校法人、一般社団法人、一般財団法人、公益法人、特定非営利活動法人とする。

I. 講習会等の受講、展示・フェア等の閲覧・視察

区分	区分番号	内容	CPD単位係数	注	例示	エビデンス事例
「講習会等」の受講	110	「講習会等」の受講 【造園CPD認定プログラム】	認定された単位 (1単位/1時間原則)	対象 ・造園CPD制度WEBサイトの認定プログラム総覧に掲載されているものうち、区分番号110とされているもの ・主催者、司会役等スタッフとして受講、聴講した場合 ・同一内容を日時、会場を変えて複数回開催するプログラム複数回受講した場合は、初回のみ単位を認める 対象外 ・休憩時間や対象地等との往復に要する時間は含まない ・講師等として参加した場合は区分番号470が該当する ・監理技術者講習は、造園CPD認定プログラムであっても区分番号110の対象外とし、区分番号150の対象とする		・磁気カードによる登録は、主催者が出席者名簿を登録するので、自己登録もエビデンス添付も不要 ・磁気カードによらない場合には当日必ず出席者名簿に記帳すること。これがエビデンスとなるので注意
建設系CPD協議会加盟団体認定プログラム	140	「講習会等」の受講 【建設系CPD協議会加盟団体の認定プログラム】	1単位/1時間 通信教育、E-ラーニングは各団体が認定した単位	対象 ・建設系CPD協議会加盟団体の認定プログラムのうち、講習会、研修会、講演会、シンポジウム、発表会、見学会等のように、講師と受講者が存在する形態のもの ・認定された通信教育、E-ラーニング 対象外 ・休憩時間や、対象地等との往復に要する時間は含まない ・講師と受講者が存在する形態以外のもの ・監理技術者講習は、いずれかの建設系CPD協議会加盟団体が認定しているも、区分番号140の対象外とし、区分番号150の対象とする		・主催者発行の出席証明書で、認定プログラム名、認定したCPD団体名、主催者名、開催年月日、実施時間、申請者名等の必要事項が記載されているもの ・建設系CPD制度のWEBサイトより建設系CPD協議会加盟団体主催CPD申請書・受講証明書をダウンロードし、必要事項を記入の上、当日、主催者から署名捺印されたものでも可 ※必ず、認定したCPD団体名（＝建設系CPD協議会加盟団体名）の記載が必要
特別認定	150	造園CPD登録実施記録審査委員会が認めた「講習会等」の受講	指定単位	対象 ・監理技術者講習：6単位（他の建設系CPD協議会加盟団体が認定した単位数にかかわらず6単位とする）		・主催者が発行する受講証明書
その他	155	「講習会等」の受講 【110、140、150以外】	0.5単位/1時間 (最大10単位/年間)	対象 ・講習会、研修会、講演会、シンポジウム、発表会、見学会等のように、講師と受講者が存在する形態のもの ・通信教育、E-ラーニング ・受講したことおよびその時間を、客観的に確認できる場合のみ 対象外 ・休憩時間や、対象地等との往復に要する時間は含まない ・同一内容を日時、会場を変えて複数回開催する「講習会等」の場合、複数回受講しても初回のみ単位を認める ・企業内研修は区分番号310とする		・主催者発行の出席証明書で、プログラム名、主催者名、開催年月日、実施時間、申請者名が記載されたもの、または自己登録証明書「造園CPD会員マイページ」掲載の「認定プログラム以外の講習会等、展示・フェア等 出席証明書」の利用可

「展示・フェア等」の閲覧・視察	120	「展示・フェア等」の閲覧・視察 【造園CPD認定プログラム】	認定された単位 (1単位/1回)	対象 ・造園CPD制度WEBサイトの認定プログラム総覧に掲載されているもののうち、区分番号120とされているもの ・同一の「展示・フェア等」の閲覧・視察を複数回行う場合は、初回に限る ・以下の博覧会、フェア、ショー (1)国際園芸博覧会（AIPH認定博覧会） (2)全国都市緑化フェア		・主催者発行の出席証明書で、プログラム名、主催者名、開催年月日、実施時間、申請者名が記載されたもの。
その他	125	「展示・フェア等」の閲覧・視察 【120以外】	0.5単位/1回 (最大5単位/年間)	対象 ・閲覧・視察をしたことを客観的に確認できる場合のみ ・同一の「展示・フェア等」の閲覧・視察を複数回行う場合は、初回に限る	・世界らん展 ・国際バラとガーデニングショー ・日本フラワー&ガーデンショー ・日比谷公園ガーデニングショー ・大通公園花壇コンテスト など	・主催者発行の出席証明書で、プログラム名、主催者名、開催年月日、実施時間、申請者名が記載されたもの、または自己登録証明書「造園CPD会員マイページ」掲載の「認定プログラム以外の講習会等、展示・フェア等 出席証明書」の利用可

II. 論文等の発表

区分	区分番号	内容	CPD単位係数	注	例示	エビデンス事例
造園CPD認定プログラム	筆頭・代表	205 研究・事例・作品等の口頭発表 【造園CPD認定プログラム】 ；筆頭者もしくは代表者	4単位/発表1件	対象 ・研究発表、調査・実験報告、事例報告、技術報告、実践報告、作品等の発表、総説、論説 ・新しい知見や新技術、新しい工夫を発表するもの ・同一の内容を複数回発表する場合は、初回のみ	・日本造園学会の各支部の支部大会における口頭発表	・以下のすべて (1)認定プログラムであることを確認できるもの (2)認定プログラム名、主催者、開催年月日、発表者名、タイトルを確認できる主催者発行のプログラムや要旨集等 ※複数名による口頭発表の場合は、筆頭者もしくは代表者と連名者の区別および全員の氏名を確認できるもの ※代表者が複数名いる場合は、代表者全員の氏名とそれぞれの配分単位数、それぞれの配分単位数を代表者全員が承諾していることが分かるもの。ただし、資料提出がない場合には、単位数を均等配分とする
	連名	206 研究・事例・作品等の口頭発表 【造園CPD認定プログラム】 ；連名者	各人 2単位/発表1件	単位数 ・単位数には要旨（査読や審査のないもの）の執筆掲載も含むものとし、執筆掲載された要旨を別の区分で計上しない ・筆頭者・代表者と連名者が明示されていることを要する ・代表者が複数名いる場合は、代表者全員で左記の単位を任意の比率で配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する		
	筆頭・代表	210 研究・事例・作品等の口頭発表 【造園CPD協議会構成団体、学術団体、公的団体が主催】 ；筆頭者もしくは代表者	2単位/発表1件	対象外 ・製品やサービス、工法、作品等の説明紹介や業績紹介 ・発表のための準備作業等の時間 ・ポスター発表のコアタイム ・造園学会全国大会研究発表会での口頭発表 ・自組織内発表会		・プログラム名、主催者、開催年月日、発表者名、タイトルを確認できる主催者発行のプログラムや要旨集等 ※複数名による口頭発表の場合は、筆頭者もしくは代表者と連名者の区別および全員の氏名を確認できるもの ※代表者が複数名いる場合は、代表者全員の氏名とそれぞれの配分単位数、それぞれの配分単位数を代表者全員が承諾していることが分かるもの。ただし、資料提出がない場合には、単位数を均等配分とする
	連名	211 研究・事例・作品等の口頭発表 【造園CPD協議会構成団体、学術団体、公的団体が主催】 ；連名者	各人 1単位/発表1件			
造園CPD認定プログラム	筆頭・代表	230 研究・事例・作品等のポスター発表 【造園CPD認定プログラム】 ；筆頭者もしくは代表者	4単位/発表1件	対象 ・研究発表、調査・実験報告、事例報告、技術報告、実践報告、作品等の発表、総説、論説 ・新しい知見や新技術、新しい工夫を発表するもの ・コアタイム等の口頭説明を含む形式のもの ・同一の内容を複数回発表する場合は、初回だけ	・日本造園学会の各支部の支部大会におけるポスター発表	・以下のすべて (1)認定プログラムであることを確認できるもの (2)認定プログラム名、主催者、開催年月日、発表者名、タイトルを確認できる主催者発行のプログラムや要旨集等 ※複数名によるポスター発表の場合は、筆頭者もしくは代表者と連名者の区別および全員の氏名を確認できるもの ※代表者が複数名いる場合は、代表者全員の氏名と、それぞれの配分単位数、それぞれの配分単位数を代表者全員が承諾していることが分かるもの。ただし、資料提出がない場合には、単位数を均等配分とする
	連名	231 研究・事例・作品等のポスター発表 【造園CPD認定プログラム】 ；連名者	各人 2単位/発表1件	単位数 ・単位数にはコアタイム等の口頭説明および要旨（査読や審査のないもの）の執筆掲載も含むものとし、これらを別の区分で計上しない ・筆頭者・代表者と連名者が明示されていることを要する ・代表者が複数名いる場合は、代表者全員で左記の単位を任意の比率で配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する		
	筆頭・代表	232 研究・事例・作品等のポスター発表 【造園CPD協議会構成団体、学術団体、公的団体が主催】 ；筆頭者もしくは代表者	2単位/発表1件	対象外 ・展示のみのもの ・製品やサービス、工法、作品等の説明紹介や業績紹介 ・自組織内発表会		・プログラム名、主催者、開催年月日、発表者名、タイトルを確認できる主催者発行のプログラムや要旨集等 ※複数名によるポスター発表の場合は、筆頭者もしくは代表者と連名者の区別および全員の氏名を確認できるもの ※代表者が複数名いる場合は、代表者全員の氏名と、それぞれの配分単位数、それぞれの配分単位数を代表者全員が承諾していることが分かるもの。ただし、資料提出がない場合には、単位数を均等配分とする
	連名	233 研究・事例・作品等のポスター発表 【造園CPD協議会構成団体、学術団体、公的団体が主催】 ；連名者	各人 1単位/発表1件			

執筆掲載	筆頭・代表	215	学術雑誌での論文等の発表・作品等に関する発表 【査読・審査付きのもの】 ；筆頭者もしくは代表者	40単位/1編	対象 ・学術団体・公的団体による査読、審査を経て、学術雑誌に掲載されたもの ・「論文等の発表」は、論文、報告（事例報告、技術報告、実践報告を含む）、総説、論説を含む ・「作品等に関する発表」とは、別途作成した作品等について、図面、写真、制作の考え方・過程等を説明したものとする。別途行った作成は業務であるか否かを問わない ・口頭発表やポスター発表を義務づけられているもの※については、単位数に口頭発表やポスター発表も含むものとする。口頭発表やポスター発表を別の区分で計上しない ※例：造園学会論文集掲載論文 単位数 ・筆頭者・代表者と連名者が明示されていることを要する ・代表者が複数名いる場合は、代表者全員で左記の単位を任意の比率で配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する	・日本造園学会論文集並びにオンライン論文集発表 ・日本造園学会技術報告集発表 ・日本造園学会作品選集発表	・以下のすべて (1)「査読・審査付き」であることを確認できる投稿規定等 (2)執筆者名、論文名・作品名、掲載誌名、掲載ページ、掲載誌の発行年月、発行者を確認できる掲載誌の目次、奥付、発表論文等・発表作品等の1ページ目 ※執筆者が複数名の場合には、筆頭者もしくは代表者、連名者の区別および全員の氏名が分かるもの ※代表者が複数名いる場合は、代表者全員の氏名、それぞれの配分単位数、それぞれの配分単位数を代表者全員が承諾していることが分かるもの。ただし、資料提出がない場合には、単位数を均等配分とする
	連名	216	学術雑誌での論文等の発表・作品等に関する発表 【査読・審査付きのもの】 ；連名者	各人 10単位/1編			
専門誌、査読・審査無し	筆頭・代表	220	専門誌での論文等の発表・作品等に関する発表 【査読・審査の無いもの】 ；筆頭者もしくは代表者	10単位/1編	対象 ・「論文等の発表」は、論文、報告（事例報告、技術報告、実践報告を含む）、総説、論説を含む ・「作品等に関する発表」とは、別途作成した作品等について、図面、写真、制作の考え方・過程等を説明したものとする。別途行った作成は業務であるか否かを問わない ・新しい知見や新技術、新しい工夫を発表するもの ・以下の専門誌等に掲載されたもの (1)造園CPD協議会構成団体の機関誌 (2)建設系CPD協議会構成団体の機関誌 (3)学術団体、公的団体発行の報告書 ・出来上1頁以上を超えることを条件とする ・口頭発表やポスター発表を義務づけられている論文等の発表・作品等に関する発表については、単位数には口頭発表やポスター発表も含むものとする。口頭発表やポスター発表を別の区分で計上しない。 ・同一の内容を複数回発表する場合は、初回だけを対象 単位数 ・筆頭者/代表者と連名者が明示されていることを要する ・代表者が複数名いる場合は、代表者全員で左記の単位を任意の比率で配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する 対象外 ・製品やサービス、工法、作品等の説明紹介や業績紹介 ・講演等や口頭発表、ポスター発表等の要旨※は、講演等や口頭発表、ポスター発表等それぞれの単位数に含まれるものとし、この区分の対象外とする ※例：造園学会全国大会分科会の講演集、支部大会要旨集	・日本造園学会ランドスケープ研究1-4号特集論文発表	・執筆者名、論文名・作品名、掲載誌名、掲載ページ、掲載誌の発行年月、発行者を確認できる掲載誌の目次、奥付、発表論文等・発表作品等の1ページ目 ※執筆者が複数名の場合には、筆頭者・代表者、連名者の区別および全員の氏名が分かるもの ※代表者が複数名いる場合は、代表者全員の氏名、それぞれの配分単位数、それぞれの配分単位数を代表者全員が承諾していることが分かるもの。ただし、資料提出がない場合には、単位数を均等配分とする
	連名	221	専門誌での論文等の発表・作品等に関する発表 【査読・審査の無いもの】 ；連名者	各人 5単位/1編			
記事		225	区分番号215、216、220、221以外の「論文等の発表」、「作品等に関する発表」および記事の執筆	2.5単位/1編	対象 ・区分番号215、216、220、221以外の「論文等の発表」、「作品等に関する発表」および、造園関連分野に関する新しい知見や技術、工夫、意見を発表する記事等の執筆掲載、同記事の翻訳の執筆掲載を対象とする ・以下に掲載された場合。 (1)造園CPD協議会構成団体の機関誌、広報・情報紙 (2)建設系CPD協議会構成団体の機関誌、広報・情報紙 (3)学術団体、公的団体発行の機関誌、広報・情報紙 (4)出版社発行の専門誌 ・同一の内容を複数回発表する場合は、初回だけ ・執筆者名が明示されていることを要する 単位数 ・執筆者が複数名いる場合は、執筆者全員で左記の単位を任意の比率で配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する 対象外 ・製品やサービス、工法、作品等の説明紹介や業績紹介（第三者の執筆による論文、作品、図書等の紹介は、区分番号560になる） ・所属組織内の広報・情報誌（社内報等）への掲載		・執筆者名、論文等名・作品等名・記事名、掲載誌名、掲載ページ、掲載誌の発行年月、発行者を確認できる掲載誌の目次、奥付、執筆ページの1ページ目 ※執筆者が複数名の場合には、全員の氏名、それぞれの配分単位数、それぞれの配分単位数を執筆者全員が承諾していることが分かるもの。ただし、資料提出がない場合には、単位数を均等配分とする

図書、出版社発行	235	技術図書の執筆	3単位/掲載1頁 (最大30単位/1件)	対象 ・ISBN付かつ出版社により出版された単行本とする。 ・発行年度のみ単位とする。改訂版を執筆したときは、改訂版の出版の年度のみ、改訂分量のみを単位とする 対象外 ・雑誌への投稿（雑誌への投稿は区分番号215、216、220、221、225のいずれかになる）		・著者名、図書名、ISBN、出版社、発行年月、執筆担当部分の表題と頁数を確認できる、図書の表紙、図書の目次、図書の奥付等
翻訳、出版社発行	240	翻訳図書の執筆	1.5単位/掲載1頁 (最大15単位/1件)	・翻訳図書とは、ISBN付かつ出版社により出版された単行本		・著者名、図書名、ISBN、出版社、発行年月、執筆担当部分の表題と頁数を確認できる、図書の表紙、図書の目次、図書の奥付等
出版社無しのもの	245	翻訳または図書の執筆【235、240以外】	0.75単位/掲載1頁 (最大8単位/1件)	・出版が出版社である必要はない 対象外 ・業務報告書、業務資料等の作成		・著者名、図書名、発行者、発行年月、執筆担当部分の表題と頁数を確認できる、図書の表紙、図書の目次、図書の奥付等

新規作品の制作、出版・応募	代表	250	新規作品の制作および出版・応募 【造園CPD協議会構成団体、公的団体、学術団体主催のコンクール等】 ；代表者	10単位/1件	対象 ・造園CPD協議会構成団体、学術団体、公的団体が主催するコンクール、コンペ、フェア等 ・応募、発表、展示にあたり新たに作品制作を伴うコンクール、コンペ、プロポーザル、フェア等 ・応募により口頭発表やポスター発表、資料作成等が伴うものについては、単位数には口頭発表やポスター発表、資料作成も含むものとする。口頭発表やポスター発表、資料作成を別の区分で計上しない 単位数 ・代表者と連名者が明示されていることを要する ・代表者が複数名いる場合は、代表者全員で左記の単位を任意の比率で配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する 対象外 ・業務受注を目的としたコンクール、コンペ、プロポーザル、フェア等 ・新規作品の制作を伴わないものや既存の作品に関する応募等		・以下のすべて (1) 出展・応募者名、作品名、コンクール等名称、主催者を 確認できるもの (2) 業務受注を目的としないことおよび新規作品制作である ことを確認できる主催者発行の募集要項等 ※出展・応募者が複数名の場合、代表者、連名者の区別および 全員の氏名を確認できるもの ※代表者が複数名いる場合は、代表者全員の氏名、それぞれの 配分単位数、配分単位数を代表者全員が承諾していることが 分かるもの。ただし、資料提出がない場合には、単位数を均 等配分とする
	連名	251	新規作品の制作および出版・応募 【造園CPD協議会構成団体、公的団体、学術団体主催のコンクール等】 ；連名者	各人 5単位/1件			
	代表	262	新規作品の制作および出版・応募 【250以外】 ；代表者	5単位/1件	対象 ・応募、発表、展示にあたり新たに作品制作を伴うコンクール、コンペ、フェア等 ・応募により口頭発表やポスター発表、資料作成等が伴うものについては、単位数には口頭発表やポスター発表、資料作成も含むものとする。口頭発表やポスター発表、資料作成を別の区分で計上しない		・以下のすべて (1) 出展・応募者名、作品名、コンクール等名称、主催者を 確認できるもの (2) 業務受注を目的としないことおよび新規作品制作である ことを確認できる主催者発行の募集要項等 ※出展・応募者が複数名の場合、代表者、連名者の区別および 全員の氏名を確認できるもの ※代表者が複数名いる場合は、代表者全員の氏名、それぞれの 配分単位数、配分単位数を代表者全員が承諾していることが 分かるもの。ただし、資料提出がない場合には、単位数を均 等配分とする
連名	263	新規作品の制作および出版・応募 【251以外】 ；連名者	各人 2.5単位/1件	単位数 ・代表者と連名者が明示されていることを要する ・代表者が複数名いる場合は、代表者全員で左記の単位を任意の比率で配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する 対象外 ・業務受注を目的としたコンクール、コンペ、フェア等 ・新規作品の制作を伴わないものや既存の作品に関する応募等			

Ⅲ：企業内研修

区分	区分番号	内容	CPD単位係数	注	例示	エビデンス事例
企業内研修	310	企業内研修プログラムの受講	0.5単位/1時間 (最大20単位/年間)	対象 ・通常業務とは別にプログラムを設けて実施されるものに限る ・複数の企業等で、合同で行うものも含む 対象外 ・契約上、実施が義務付けられている安全大会 ・安全パトロール		・以下のすべて (1)申請者が企業内研修を受講したことを証明する資料 [研修会の名称、実施日時、講師氏名と講師担当内容と時刻・所要時間(休憩時間は除く)、受講者名簿(手書きの自筆サイン。別添可)が記載されており、主催者団体や上司等の申請者以外が発行・証明するもの。「造園CPD会員マイページ」掲載の「企業内研修等 講師・受講者証明書」の利用可] (2)研修会次第等 [研修会の名称、実施日時、講師担当内容と時刻が記載されており、休憩時間を除いた実質の所要時間を確認できるもの] (3)講演・指導内容を確認できる資料 [写真の縮小印刷や配布、要旨等。多量にある場合は一部でも可]

Ⅳ：能力向上に資する技術指導

区分	区分番号	内容	CPD単位係数	注	例示	エビデンス事例
講師等	講師	470 講演者、講師等 【造園CPD認定プログラムまたは建設系CPD協議会構成団体認定プログラムにおけるもの】	5単位/1時間 (最大20単位/1講座当り、連続講座等の場合は全部で20単位まで)	対象 ・講演や講習の講師のほか、シンポジウム等のコーディネーターや座長、コメンテーター、パネリスト等も含む。ただし話者を紹介するだけの単なる司会の場合は、「受講(区分番号110または140)」とする ・見学会等の説明者も含む。ただし説明の実時間のみを対象とする ・内容が同じものを複数回行う場合は、初回に限り単位を認める ・講師等の実施時間のみ ・「補助」とは、補助に当たり造園的技術を要するものを意味する(映写の補助などは受講(区分番号110または140)として計上する) ・「補助」は、主催者または講師から依頼を受けたものに限る	・CPD認定プログラムの国際会議、全国大会、支部大会のシンポジウムにおける講演、座長、コメンテーター、パネリスト ・CPD認定プログラムの見学会の引率説明	・以下のすべて (1)講師等を担当したプログラム等が、認定プログラムであることを確認できる資料 (2)講師等を実施したことと、講師担当内容、講師を担当した具体的な時間(開始時刻と終了時刻、休憩や移動等を除く所要時間)を確認できる主催者が作成・発行した資料 [主催者からの依頼状や主催者発行のプログラム次第等で、上記事項が記載されたもの。主催者による上記事項が記載された証明書でも可]
	補助	475 講演者、講師等の補助 【造園CPD認定プログラムまたは建設系CPD協議会構成団体認定プログラムにおけるもの】	2.5単位/1時間 (最大10単位/1講座当り、連続講座等の場合は全部で10単位まで)	対象外 ・準備時間や、プログラムの運営や企画を行った時間		・以下のすべて (1)「補助」を担当したプログラム等が、認定プログラムであることを確認できる資料 (2)「補助」を実施したことと、補助の具体的内容、補助を担当した具体的な時間(開始時刻と終了時刻、休憩や移動等を除く所要時間)を確認できる主催者または講師が作成・発行した資料 [主催者からの依頼状や主催者発行のプログラム次第等で、上記事項が記載されたもの。主催者による上記事項が記載された証明書でも可] (3)主催者または講師からの依頼状
学術団体、公的団体	講師	480 講演者、講師等 【学術団体、公的団体等が主催する講演会、講座等におけるもの】	2単位/1時間 (最大20単位/1回当り、連続講座等の場合は全部で20単位まで)	対象 ・講演や講習の講師のほか、シンポジウム等のコーディネーターや座長、コメンテーター、パネリスト等も含む。ただし話者を紹介するだけの単なる司会の場合は、「受講(区分番号110または140)」とする ・見学会等の説明者も含む。ただし説明の実時間のみを対象とする ・内容が同じものを複数回行う場合は、初回に限り単位を認める ・講師等の実施時間のみ ・「補助」とは、補助に当たり造園的技術を要するものを意味する(映写の補助などは受講(区分番号110または140)として計上する) ・「補助」は、主催者または講師から依頼を受けたものに限る ・造園学会サマースタジオのチューターはこの講演者、講師等の区分番号480に、シニアチューターは補助員の区分番号485に該当するものとする	・区分番号470、475以外学術団体、公的団体主催の国際会議、全国大会、支部大会のシンポジウムにおける講演、座長、コメンテーター、パネリスト ・造園関連の学術団体や公的団体主催の見学会の引率説明 ・造園学会関東支部サマースタジオのチューター	・以下のすべて (1)講師等を担当したプログラム等の主催者が、学術団体、公的団体等であることを確認できる資料 (2)講師等を実施したことと、講師担当内容、講師を担当した具体的な時間(開始時刻と終了時刻、休憩や移動等を除く所要時間)を確認できる主催者が作成・発行した資料 [主催者からの依頼状や主催者発行のプログラム次第等で、上記事項が記載されたもの。主催者による上記事項が記載された証明書でも可]
	補助	485 講演者、講師等の補助 【学術団体、公的団体等が主催する講演会、講座等におけるもの】	1単位/1時間 (最大10単位/1回当り、連続講座等の場合は全部で10単位まで)	対象外 ・所属組織の業務として行ったもの ・準備時間や、プログラムの運営や企画を行った時間	・造園学会関東支部サマースタジオのシニアチューター	・以下のすべて (1)「補助」を担当したプログラム等の主催者が、学術団体、公的団体等であることを確認できる資料 (2)「補助」を実施したことと、補助の具体的内容、補助を担当した具体的な時間(開始時刻と終了時刻、休憩や移動等を除く所要時間)を確認できる主催者または講師が作成・発行した資料 [主催者からの依頼状や主催者発行のプログラム次第等で、上記事項が記載されたもの。主催者による上記事項が記載された証明書でも可] (3)主催者または講師からの依頼状

授業講師	講師	430 授業講師 【大学等の教育機関の1機関において1科目の授業を行うもの】	2単位/1時間 (最大20単位/1科目)	対象 ・学校で教えることを本業としていない者 ・内容が同じ授業を1年度内に複数回行う場合は、1授業分のみ認める ・同じ授業時間内に複数名が講師をした場合は、主たる講師 1名だけを「授業講師」(区分番号430)とし、その他の講師は「授業講師補助」(区分番号432)とする	・大学、専門学校、技術訓練校、高等学校等の教育機関の非常勤講師	・講師等を実施したことと、担当授業名、講師担当内容、講師を担当した具体的な日時と時間を確認できる教育機関が作成・発行した資料 [教育機関からの委嘱状や教育機関発行のシラバス等で、上記事項が記載されたもの。教育機関による上記事項が記載された証明書でも可]
	補助	432 授業講師補助 【大学等の教育機関の1機関において1科目の授業を行うもの】	1単位/1時間 (最大10単位/1科目)	・「補助」とは、補助に当たり造園的技術を要するものを意味する 対象外 ・学校等の教員が他校で非常勤講師をした場合 ・造園的技術を要しない映写の補助等	・大学、専門学校、技術訓練校、高等学校等の教育機関の設計演習やワークショップ等のゲスト講習会への参加	・「補助」を実施したことと、授業名、補助の具体的内容、補助を担当した具体的な日時と時間を確認できる教育機関が作成・発行した資料 [教育機関からの委嘱状や教育機関発行のシラバス等で、上記事項が記載されたもの。教育機関による上記事項が記載された証明書でも可]
指 導 イ ン タ ー ン シ ッ プ		437 インターンシップの指導 【大学等の教育機関から依頼を受けて受け入れたもの】	1単位/1日 (最大20単位/年間)	対象 ・学校で教えることを本業としていない者 ・主たる指導者 ・主たる指導者が複数名の場合は、指導者全員で左記の単位を任意の比率で配分するものとし、それぞれの単位数を明記することを要する ・複数名の学生の指導であっても、同一時期・同一内容の指導の場合は、合せて1日とする	・造園系施工会社、設計事務所によるインターン学生への指導担当	・以下のすべて (1)教育機関からの依頼状 (2)主たる指導担当者の氏名、指導した日時、指導対象学生数、指導内容を認める資料 [報告書などで上記が記載されているもの] ※主たる指導者が複数名の場合は、主たる指導者全員の氏名と、それぞれの配分単位数、指導者全員が配分を承諾していることを確認できる資料
社 内 研 修 会 の 内 部 講 師		435 社内研修会等の内部講師等	1単位/1時間 (最大10単位/年間)	対象 ・区分番号310の講師 ・複数名による同時実技指導等は、それぞれの申請を可とするが、講義等は各人の実働時間のみとする	・施工技術講習の講師 ・安全講習の講師 ・受験対策講習会の講師	・以下のすべて (1)申請者が企業内研修の講師をしたことを証明する資料 [研修会の名称、実施日時、講師氏名と講師担当内容と時刻・所要時間(休憩時間は除く)、受講者名簿(手書きの自筆サイン。別添可)が記載されており、主催者団体や上司等の申請者以外が発行・証明するもの。「造園CPD会員マイページ」掲載の「企業内研修等 講師・受講者証明書」の利用可] (2)研修会次第等 [研修会の名称、実施日時、講師担当内容と時刻が記載されており、休憩時間を除いた実質の所要時間を確認できるもの] (3)講演・指導内容を認める資料 [講演・指導時に用いた映写の縮小印刷や配布、要旨等。多量にある場合は一部でも可]
委 員 会 参 加	委員長	440 学術団体・公的団体の委員会への出席 ；議長・委員長	2単位/1時間	対象 ・造園CPD協議会構成団体、学術団体、公的団体の委員会構成員として委嘱を受けた場合 ・公的技術審議会、調査・計画委員会、コンクールやコンペ等の審査会、試験委員会も含む。 ・審査会、試験委員会などは、その構成員となっていることが公表できる場合に限り単位を認める	・公共団体の審議会委員長/委員 ・自然再生協議会の委員長/委員 ・計画委員会委員長/委員 ・造園デザインコンクールの審査員長/委員 ・造園学会の技術委員会委員長/委員 ・協会の技術委員会の議長/委員 ・協会の施工管理システムや受発注システムに関する研究委員会の委員長/委員 ・CLA賞選考委員会の委員長/委員 ・RLA 資格認定試験採点者会議グループリーダー/メンバー ・ポスター賞、ベストプレゼン賞の審査委員長/委員	・以下のすべて (1)会議の主催者、会議名、開催日程、開催時刻・所要時間(休憩時間や移動時間は除く)、議事次第、議長・委員長または幹事・委員として会議に出席したこと(事務局やオブザーバーは対象外)を確認できるもの [上記事項が記された議事録部分。主催者による上記事項が記載された証明書でも可] (2)主催者が、造園CPD協議会構成団体以外の場合、学術団体か公的団体等であることを確認できる資料
	委員	445 学術団体・公的団体の委員会への出席 ；幹事・委員	1単位/1時間	対象外 ・事務局やオブザーバーの立場での出席 ・総会、役員会、理事会、総務委員会等、組織の運営や経営、人事、組織、規程に関する委員会、会議		
題 試 作 験 成 審 査 ・ 採 点 ・ 問		455 試験審査・採点・問題作成	1単位/1時間 (最大20単位/年間)	対象 ・面接試験の試験官を含む ・守秘義務の観点から、試験審査、採点、問題作成の担当をしたことが他者に知られることを、主催者から承認が得られた場合に認める ・造園CPD協議会構成団体、学術団体、公的団体から委嘱されたものに限る 対象外 ・筆記試験監督者	・街路樹剪定士講習会の採点 ・植栽基盤診断士の採点 ・植栽基盤診断士試験の面接官 ・RLA資格認定に係る採点・問題作成	・以下のすべて (1)申請者が試験審査、採点、問題作成の従事者であること、従事日時・所要時間(休憩時間を除く)を確認できる主催者が発行・証明する資料 (2)担当をしたことが他者に知られることを、主催者が承認したことを確認できる資料 (3)試験審査、採点、問題作成の主催者が造園CPD協議会構成団体以外の場合、学術団体か公的団体等であることを確認できる資料
論 文 査 読		460 論文査読【学会等の依頼があるもの】	10単位/1編 (最大20単位/年間)	・論文の編集委員(査読者の査読結果をさらに判定し、書き換えて著者に引き渡す)も含む ・「1編」には同じ論文に対する複数回の再査読も含む(再査読ごとに別の論文として別途計上しない)		・主催者からの査読依頼書

V：業務等の評価（能力向上の成果とみなせるもの）

区分	区分番号	内容	CPD単位係数	注	例示	エビデンス事例
CPD協議会 団体、学 術団体、 公的団体 主催 ・大賞 コン ク ー ル 等 で の 受 賞 (応 募 す る も の)	代表 ・筆 頭	505 コンクール等での大賞受賞 【造園CPD協議会構成団体、 学術団体、公的団体主催コン クール等の「大賞」に該当す るもの】 ；代表者または筆頭者	40単位/1件	対象 ・応募を伴うもの ・造園CPDプログラム認定委員会により「大賞」に該当すると認められた もの ・代表者と連名者が明示されていることを要する ・代表者が複数名いる場合は、代表者全員で左記の単位を任意の比率で 配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する	・都市公園コンクールの受賞 ・全国造園デザインコンクールの受賞 ・CLA賞の受賞 ・屋上・壁面緑化技術コンクールの受賞 ・緑の都市賞の受賞 ・緑の環境プラン大賞の受賞 ・一造会大賞の受賞 ・国際バラとガーデニングショウ ・日比谷公園ガーデニングショー ・技能五輪全国大会、技能五輪国際大会、 技能グランプリ	・以下のすべて (1) 該当の賞が大賞に該当すると認められていることを確認で きるもの (2) 受賞および賞の主権者を確認できるもの〔表彰状等〕 (3) 主催者または申請者所属組織が発行・証明する資料で、表 彰対象者の代表者、連名者の区別および全員の氏名を確認 できるもの (4) 代表者が複数名いる場合は、代表者全員の氏名、それぞ れの配分単位数とその配分単位数を代表者全員が承諾してい ることを確認できるもの
	連 名 者	506 コンクール等での大賞受賞 【造園CPD協議会構成団体、 学術団体、公的団体主催コン クール等の「大賞」に該当す るもの】 ；連名者	各人 20単位/1件	対象外 ・応募を伴わないものは「表彰」の対象とする		
CPD協議会 団体、学 術団体、 公的団体 主催 ・大賞以 外 （応 募 す る も の）	代表 ・筆 頭	507 コンクール等での受賞 【造園CPD協議会構成団体、 学術団体、公的団体主催コン クール等】 ；代表者または筆頭者	20単位/1件	対象 ・応募を伴うもの ・代表者と連名者が明示されていることを要する ・代表者が複数名いる場合は、代表者全員で左記の単位を任意の比率で 配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する	・都市公園コンクールの受賞 ・全国造園デザインコンクールの受賞 ・CLA賞の受賞 ・屋上・壁面緑化技術コンクールの受賞 ・緑の都市賞の受賞 ・緑の環境プラン大賞の受賞 ・一造会大賞の受賞 ・国際バラとガーデニングショウ ・日比谷公園ガーデニングショー ・技能五輪全国大会、技能五輪国際大会、 技能グランプリ	・以下のすべて (1) 受賞および賞の主権者を確認できるもの〔表彰状等〕 (2) 主催者または申請者所属組織が発行・証明する資料で、表 彰対象者の代表者、連名者の区別および全員の氏名を確認 できるもの (3) 代表者が複数名いる場合は、代表者全員の氏名、それぞ れの配分単位数とその配分単位数を代表者全員が承諾してい ることを確認できるもの
	連 名 者	508 コンクール等での受賞 【造園CPD協議会構成団体、 学術団体、公的団体主催コン クール等】 ；連名者	各人 10単位/1件	対象外 ・応募を伴わないものは「表彰」の対象とする		
民間団体 主催	代表 ・筆 頭	515 コンクール等での受賞 【上記以外主催のコンクール 等】 ；代表者または筆頭者	5単位/1件	対象 ・民間団体、民間企業等主催のコンクール等での受賞 ・応募を伴うもの ・代表者または筆頭者のみ ・代表者が明示されていることを要する ・代表者が複数名いる場合は、代表者全員で左記の単位を任意の比率で 配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する 対象外 ・応募を伴わないものは「表彰」の対象とする ・連名者	・緑のコンクール ・フォトコンテスト	以下のすべて (1) 受賞および賞の主権者を確認できるもの〔表彰状等〕 (2) 主催者または申請者所属組織が発行・証明する資料で、表 彰対象者の代表者の氏名を確認できるもの (3) 代表者が複数名いる場合は、代表者全員の氏名、それぞ れの配分単位数とその配分単位数を代表者全員が承諾してい ることを確認できるもの
特許 等	特許	525 特許の取得等	40単位/1件	・発明者に限る（発明者が複数名の場合は、発明者間で持ち分に応じ単位 を分け合う）		・登録等の内容と、登録者等の氏名を確認できるもの〔登録証 等のコピー〕 ・登録者等が複数名の場合は、持分を確認できる資料
	実用新案	530 実用新案の取得	20単位/1件	・取得者に限る（取得者が複数名の場合は、取得者間で持ち分に応じ単位 を分け合う）		
	意匠登録	535 意匠登録	10単位/1件	・登録者に限る（登録者が複数名の場合は、登録者間で持ち分に応じ単位 を分け合う）		

表彰	学会賞	筆頭者	555	学会賞受賞 ；筆頭者	40単位/1件	対象 ・日本造園学会の学会賞を対象とする。ただし学会賞奨励賞は区分番号540、541とする ・区分番号215、216：「学術雑誌での論文等の発表・作品等に関する発表」の単位とは別に与えられる	・造園学会賞の受賞	・受賞者が記載されている「ランドスケープ研究」誌のコピー
		連名者	556	学会賞受賞 ；連名者	各人 20単位/1件	対象外 ・土原敬二賞と田村剛賞、特別賞		
CPD協議会 団体・学 術団体・ 公的団体	代表者	540	表彰 【造園CPD協議会構成団体、 学術団体、公的団体からの 表彰】 ；代表者	20単位/1件	対象 ・造園CPD協議会構成団体、学術団体、公的団体からの表彰 ・応募を伴わないもの ・表彰される者が特定される場合に限る ・代表者と連名者が明示されていることを要する	・優良工事表彰の管理技術者、主任技術者 ・優秀現場代理人表彰、優秀工事技術者表彰 ・建設マスター ・日本造園学会全国大会、支部大会における表彰の代表者	・以下のすべて (1)表彰を受けたことおよび表彰した者（主催者等）を確認できるもの〔表彰状等〕 (2)主催者が造園CPD協議会構成団体以外の場合、学術団体か公的団体等であることを確認できる資料 (3)主催者または申請者所属組織が発行・証明する資料で、表彰対象者の代表者、連名者の区別および全員の氏名を確認できるもの (4)代表者が複数いる場合は、代表者全員の氏名、それぞれの配分単位数とその配分単位数を代表者全員が承諾していることを確認できるもの	
		連名者	541	表彰 【造園CPD協議会構成団体、 学術団体、公的団体からの 表彰】 ；連名者	各人 10単位/1件	単位数 ・代表者が複数名いる場合は、代表者全員で左記の単位を任意の比率で配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する 対象外 ・組織に対する表彰 ・永年の業績に対する功労賞等 ・所属組織等からの表彰		・優良工事表彰の該当工事でCORINSに登録されている者 ・日本造園学会全国大会・支部大会における表彰の連名者
その他	代表者	545	表彰 【上記以外の団体からの 表彰】 ；代表者	10単位/1件	対象 ・造園CPD協議会構成団体、学術団体、公的団体以外の団体からの表彰 ・応募を伴わないもの ・代表者と連名者が明示されていることを要する		・以下のすべて (1)表彰を受けたことおよび表彰した者（主催者等）を確認できるもの〔表彰状等〕 (2)主催者または申請者所属組織が発行・証明する資料で、表彰対象者の代表者、連名者の区別および全員の氏名を確認できるもの (3)代表者が複数いる場合は、代表者全員の氏名、それぞれの配分単位数とその配分単位数を代表者全員が承諾していることを確認できるもの	
		連名者	546	表彰 【上記以外の団体からの 表彰】 ；連名者	各人 5単位/1件	単位数 ・代表者が複数名いる場合は、代表者全員で左記の単位を任意の比率で配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する 対象外 ・表彰された者が特定できる場合に限る。組織に対する表彰は対象外 ・永年の業績に対する功労賞等 ・所属組織等からの表彰		

成果を挙げた業務の第三者による紹介	図書等への掲載	560	第三者による「図書等」における業務の紹介	5単位/1件 (最大30単位/図書等1冊)	対象 ・出版物とは下記を対象とする -図書等：ISBN付かつ出版社により出版された印刷物、公的WEBサイト、全国紙、新聞等 -広報誌等：印刷物、所属組織以外のWEBサイト、業界新聞等 ・「業務の紹介」とは、出版物への掲載を目的としない活動・作品等が、所属組織以外の発行者により出版物に掲載された場合をいう ・活動した者・作品の制作者による発行者への働きかけの有無は問わない ・該当する活動・作品等に携わった者が複数名いる場合は、すべての者が明示されていることを要する ・発行、掲載された初回年度のみを単位の対象とする	・「ランドスケープデザイン」への掲載 ・「庭」への掲載 ・「日経コンストラクション」への掲載	・紹介内容、紹介された業務の活動者・制作者の氏名、紹介の執筆者、掲載された出版物の名称、発行者、発行年月を確認できるもの〔掲載された出版物の奥付と目次、掲載部分のコピー〕
		565	第三者による「広報誌等」における業務の紹介	2単位/1件 (最大8単位/広報誌等1冊)	単位数 ・携わった者全員で左記の単位を任意の比率で配分するものとし、それぞれの単位数も明記することを要する 対象外 ・所属組織を対象とした紹介等 ・所属組織が発行する図書等、広報誌等に掲載されたもの ・改訂版への掲載	・広報日造協への掲載	

VI：その他

区分	区分番号	内容	CPD単位係数	注	例示	エビデンス事例
その他	610	技術開発、研究開発プロジェクトへの参加	1単位/1時間 (最大20単位/年間)	対象 ・大学、研究機関(企業も含む)における研究開発、技術開発のメンバーとして参画した場合 対象外 ・研究開発や技術開発を行う部署に所属し、研究開発、技術開発を業務の一環として行っている者		・機関からの依頼状、委嘱状 ・申請者名、研究内容が確認できる資料 ・技術開発、研究開発プロジェクトの申請書や企画書(大学本部、資金提供機関等に提出したもの)
	620	自己学習	1単位/1件 (最大10単位/年間)	対象 ・ 区分番号100番台以外の講習会等の受講、展示・フェア等の閲覧・視察 (→認定プログラム以外の講習会等の受講は区分155、展示・フェア等の閲覧・視察は区分125で登録ください) ・造園関連分野に関する現地・現場の視察 ・造園関連分野の機関誌、専門誌、報告書、広報・情報紙に掲載されている論文、作品等に関する発表の閲読・閲覧 ・造園関連分野に関する知見や技術、工夫、意見を発表した記事等の閲読・閲覧 ・造園関連分野に関する図書の閲読・閲覧 ・造園関連分野に関する内容のWEBの閲読・閲覧 ・造園関連分野に関する内容のテレビ番組やビデオの視聴 ・専門性を活かした社会貢献活動 ※指定様式の「実施報告書」に必要な事項が記載されたものに限る 対象外 ・自社工事等の物件や関連会社等の物件 ・業務中の活動 ・業務の一環として行うもの		・実施報告書(指定書式、「造園CPD会員マイページ」掲載のもの)に以下の内容が記載されていること[活動日時、場所、活動内容、活動によって得られた知見(指定の文字数以上)、実施証明者(本人も可)の署名捺印]